# 風水とは“自然科学”である──太極・陰陽・五行の理論

世の中には、「風水」と名のつく本が溢れています。方位や色を変えれば運が開ける、インテリアをこうすれば氣が整う──そういったノウハウが並ぶハウツー本を、私も何冊も目にしてきました。

しかし、この章で扱うのは、それらとは根本的に異なる内容です。

ここでは風水の“構造”そのもの──なぜ風水が成立するのかという、根底に流れる自然の法則を、科学的な視点から解き明かしていきます。

風水専門書の中には「風水は自然法則に基づいている」と説明するものもありますが、いわゆるハウツー本ではそのような記述はほとんど見られません。

そのため、読者が「風水は風水である」となんとなく理解してしまうのも、ある意味で仕方のないことかもしれません。

本章では、風水の基盤にある主要な概念──太極・陰陽・五行・九星・干支を取り上げます。

それらは単なる古代思想でも信仰の対象でもなく、宇宙の運動、地球のリズム、自然の摂理を言語化した“自然哲学”です。現代の科学的視点から見ても、驚くほどの整合性を持っています。

私は風水を、「見えない力を扱う迷信」ではなく、自然という巨大なシステムに寄り添い、その氣の流れを読み取る技術と捉えています。そこにはスピリチュアルでも占いでもない、確かな“理”が存在しているのです。

この章では、その“理”を現代の自然科学の目で一つひとつ照らし出していきます。